

## 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	目標単位	計画期間 目標数値	実績	判定
河川下水道対策					
河川対策					
①数値目標あり					
(一)猪名川	河床掘削(尼崎市～川西市)(R3まで)	m3	100,000	192,600	◎
(一)猪名川	河床掘削(尼崎市～川西市)(R4～)	m3	24,000	12,000	○
(一)槻並川	河川改修 堤防嵩上げ(猪名川町槻並)	m	100	135	◎
(一)槻並川	河川改修 河道掘削他(猪名川町槻並)	m	500	560	◎
(一)箕面川	河川改修 堤防強化(伊丹市下河原)	m	200	200	◎
②数値目標がない取組					
(一)猪名川	河川改修 護岸他(川西市) 【銀橋下流～多田大橋】	m	-	1,796	○
(一)猪名川	河川改修 河道掘削他(猪名川町笹尾・清水)	m	-	200	○
(一)庄下川	河床掘削、護岸整備(尼崎市)	m	-	1,203	○
(一)庄下川	矢板護岸の耐震化(尼崎市)	m	-	1,353	○
一庫ダム	洪水調節方法の検討	-	-		○

◎:達成 ○:取組中 ×:取組実績なし

## 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	目標単位	計画期間 目標数値	実績	判定
河川下水道対策					
河川対策					
③計画期間内の数値目標がない取組					
(一)猪名川	河川改修 堤防嵩上げ（猪名川町柏梨田）	m	-		○
(一)猪名川	河川改修 河道掘削（猪名川町原）	m	-		○
(一)左門殿川	河床掘削	m	-		○
(一)神崎川	河床掘削	m	-		○
(一)庄下川	松島排水機場の更新	-	-		○
下水道対策					
①数値目標あり					
川西市公共下水道	年超過確率1/7(51mm/hr)対応	m	2,633	2,343	○
宝塚市公共下水道	年超過確率1/6(46.8mm/hr)対応 雨水管等の排水施設の整備、浸水常襲地区の優先整備	m	500	970	◎
伊丹市公共下水道	年超過確率1/6(46.8mm/hr)対応 雨水ポンプ場の改築更新、幹線管きよの整備	m	2,015	781	○
尼崎市公共下水道	降雨確率年1/6～1/10(46.8～51.7mm/hr)対応 重点地区の優先整備(管きよの改築更新)	m	19,159	18,305	○
尼崎市公共下水道	降雨確率年1/6～1/10(46.8～51.7mm/hr)対応 重点地区の優先整備(雨水ポンプ)	箇所	1	2	◎
③計画期間内の数値目標がない取組					
猪名川町公共下水道	年超過確率1/10(57mm/hr)対応	-	-		○

◎:達成 ○:取組中 ×:取組実績なし

## 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	判定	備考
<b>2. 流域対策</b>			
<b>(1) 調整池の設置及び保全</b>			
	開発に伴う調整池設置指導	◎	
	【宝塚市独自取組】0.3ha以上の全開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置指導	◎	
	【伊丹市独自取組】0.2ha以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置指導	◎	
	指定調整池の指定	◎	
<b>(2) 土地等の雨水貯留浸透機能</b>			
	雨水貯留浸透施設等の整備 等(学校)	◎	
	雨水貯留浸透施設等の整備 等(公園・その他大規模施設)	○	
	管理道路における歩道の透水性舗装	○	
	雨水貯留タンク設置費助成	○	
	田んぼダム(セキ板配布・設置啓発)	◎	
	県立都市公園(一庫公園)里山保全	◎	
	指定雨水貯留浸透施設の指定	◎	
<b>(3) 貯水施設の雨水貯留容量の確保</b>			
	ため池改修に合せた事前放流設備の整備	◎	
	洪水調節方法の検討(一庫ダム)	◎	
	指定貯水施設の指定	△	対象施設なし
<b>(4) ポンプ施設との調整</b>			
	内水ポンプ運転調整のためのルールづくり	◎	
	指定ポンプ施設の指定	△	排水計画の策定に向けた協議継続中
<b>(5) 遊水機能の維持</b>			
	新名神高速道路関連事業にあわせた遊水機能地の確保(2箇所)	◎	
<b>(6) 森林の整備及び保全</b>			
	災害緩衝林の造成 等	○	

◎:達成 ○:取組中 △:制度はあるが実績なし

# 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	判定
3. 減災対策		
(1) 浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握		
	想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表	◎
	避難判断水位・氾濫危険水位等の見直し	◎
	市町の実態に即したハザードマップ作成・更新の支援	◎
	CGハザードマップの改良	◎
	ハザードマップの作成・配布等	◎
	公共施設、電柱等に浸水実績や避難所を示す案内表示板を掲示	◎
(2) 浸水による被害の発生にかかる情報の伝達		
	迅速な避難勧告等の情報提供を目的に同報無線、移動無線の充実	○
	氾濫シミュレーションの精度向上、市町への河川監視カメラ接続による情報提供	◎
	水位予測等の配信による、水防活動や避難勧告発令への支援	◎
	フェニックス防災システムの精度向上	◎
	無線スピーカーの活用、防災情報の確実な配信	◎
	住民へ迅速で正確な情報を提供するための防災行政無線の整備	◎
	避難勧告等の判断・伝達マニュアルの精度向上	◎
	防災行政無線屋外拡声器の拡充	◎
	ホットラインの構築、連絡体制の確認	◎
	水害対応タイムラインの策定・タイムラインの検証	◎
(3) 浸水による被害の軽減に関する学習		
	出前講座の充実、氾濫シミュレーションデータの提供	◎
	ひょうご防災リーダー講座等の実施	○
	ひょうご安全の日推進事業助成制度等による支援	◎
	「ひょうご防災リーダー講座」の広報実施	○
	ひょうご防災リーダー講座受講支援による防災の担い手育成	◎
	地域版防災マップ作成助成	◎
	図上訓練、出前講座等の実施	◎
	想定最大規模降雨による洪水を対象とした手作りハザードマップの取組の検討	◎

◎:達成 ○:取組中 ×:取組実績なし

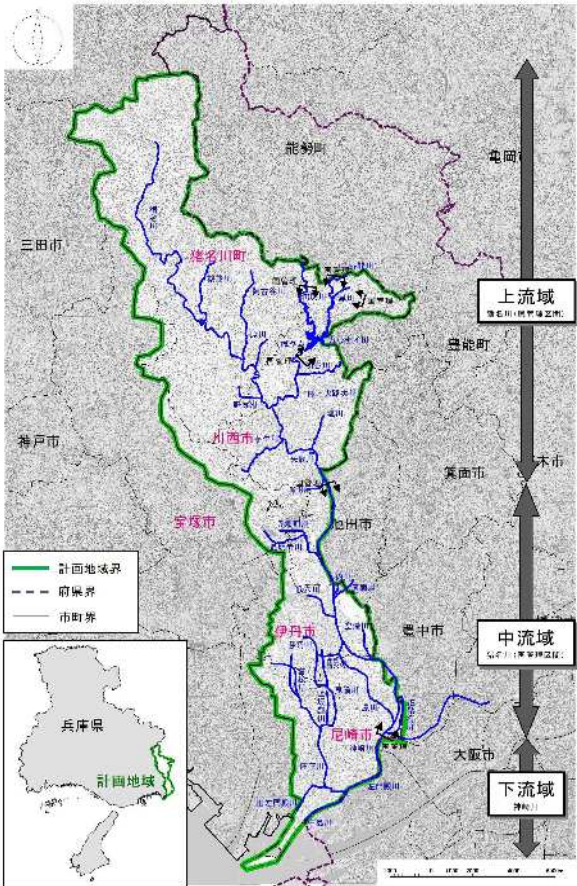
## 阪神東部（猪名川流域圏）地域における取組み実績

箇所・取組	事業概要	判定
<b>3. 減災対策</b>		
<b>(4) 浸水による被害軽減のための体制の整備</b>		
	水防連絡会による連携強化 研修、勉強会、実践的演習の実施	◎
	早めの情報配信、避難所開設 災害対策本部の機能強化 避難行動要支援者に対する取組実施	◎
	川西市自主防災組織連絡協議会研修会の実施	◎
	職員向け研修等の実施	◎
	一般市民向け研修会の実施、避難所への発電機提供、各種支援の実施	○
	各種訓練（支援啓発活動）の実施、災害時要援護者支援連絡会の実施、	◎
	大規模工場等の自衛水防の支援・啓発活動の実施	◎
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難訓練の支援	◎
	広域避難体制の構築・実施にあたっての技術的支援の実施	◎
<b>(5) 訓練の実施</b>		
	府県・市町と連携した氾濫シミュレーションの実施、市町の水防訓練との連携	○
	訓練、実践的な演習等の実施	◎
	訓練の実施、災害対策本部の機能強化	◎
	消防団等各種団体と連携した水防訓練の実施	◎
	総合防災訓練等の実施	◎
<b>(6) 建物等の耐水機能</b>		
	止水板の設置（園田出張所）	◎
	建物の嵩上げや非常用設備等の重要施設等を上階に配置	◎
<b>(7) 浸水による被害からの早期の生活の再建</b>		
	県民への周知及び加入の促進（フェニックス共済）	◎

◎:達成 ○:取組中 ×:取組実績なし

# 阪神東部（猪名川圏域） 地域総合治水推進計画の主な取組み実績 (H26~R4年度)

令和5年12月4日



■主な取組内容

- 河川下水道対策
  - (1) 猪名川河床掘削 (国) . . . . . 3
  - (2) 猪名川改修 (県) . . . . . 4
  - (3) 庄下川 . . . . . 5
  - (4) 一庫ダム . . . . . 6
  - (5) 公共下水道 . . . . . 7
- 流域対策
  - (1) 雨水タンクの設置 . . . . . 8
  - (2) ため池事前放流 . . . . . 9
  - (3) 一庫ダム . . . . . 10
  - (4) 都市公園雨水貯留 . . . . . 11
  - (5) 遊水機能を有する土地の保全 . . . . . 12
- 減災対策
  - (1) 水害リスクに対する認識の向上 . . . . . 13
  - (2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化 . . . . . 14
  - (3) 的確な避難のための啓発 . . . . . 15
  - (4) 水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え . . . . . 16

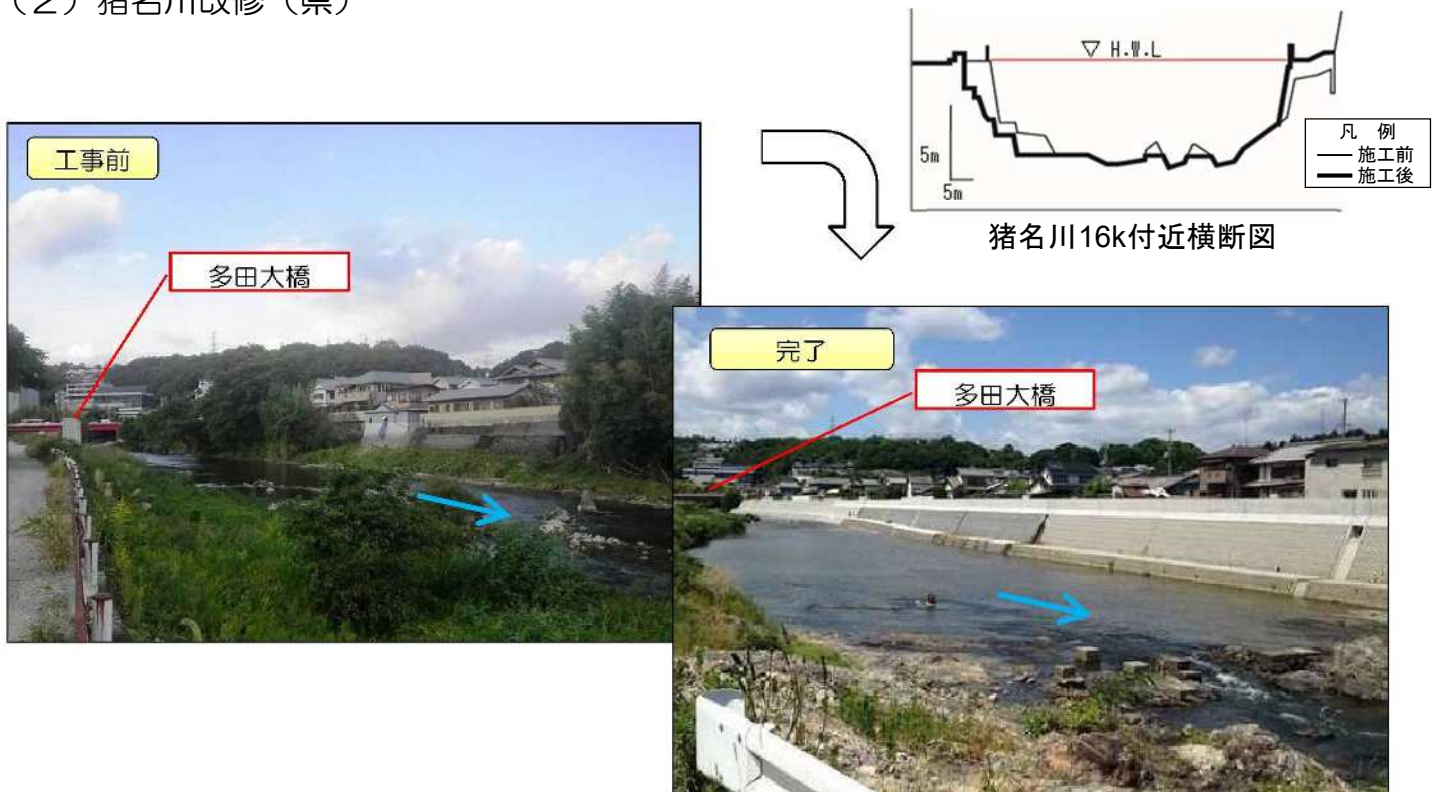
阪神東部（猪名川圏域）位置図

## (1) 猪名川河床掘削 (国)



猪名川下川原地区 河床掘削

## (2) 猪名川改修 (県)



多田院地区 護岸整備  
(7/13)

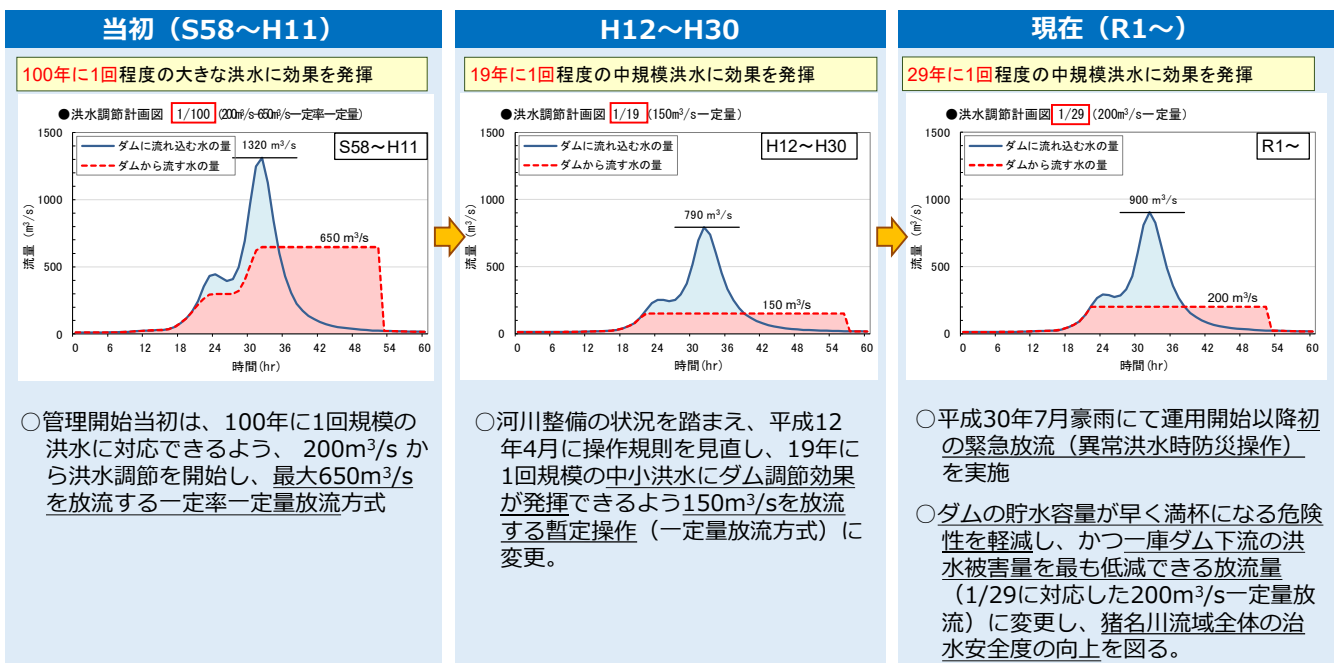
(3) 庄下川



尼崎市築地 護岸補強工事

(4) 一庫ダム

- 一庫ダムでは河川整備の進捗状況を踏まえ、過去の主要な洪水をもとに、中小洪水等に調節効果が発揮できるような洪水調節方式に変更 (H12~H30)。
- 計画規模を超える洪水においても、ダムの貯水容量が早く満杯になる危険性を軽減し、かつ、一庫ダム下流の洪水被害を最も低減できる洪水調節方式に変更 (R1~)。



(いずれもS28.9洪水波形。安全度は比較のためH12変更時の方法で記載したものであり、現状の安全度とは異なる。)



## (5) 公共下水道

計画降雨確率 1/6、降雨強度 46.8mm/h

- ・雨水幹線整備 145km (整備率80.2%)
- ・ポンプ場 6箇所



工事前



工事後



公共下水道管の管渠更生工事

出典：伊丹市上下水道局HP

伊丹市 幹線管渠の整備等

# 流域対策

## (1) 雨水貯留タンクの設置

**雨水貯留タンクの設置費用を助成します！**

詳しくは上下水道局2階 下水道課まで

伊丹市における雨水貯留タンクの設置実績件数

~H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
72	4	11	5	7	5	15	4	3	6	132

雨水貯留タンク設置の促進（伊丹市）



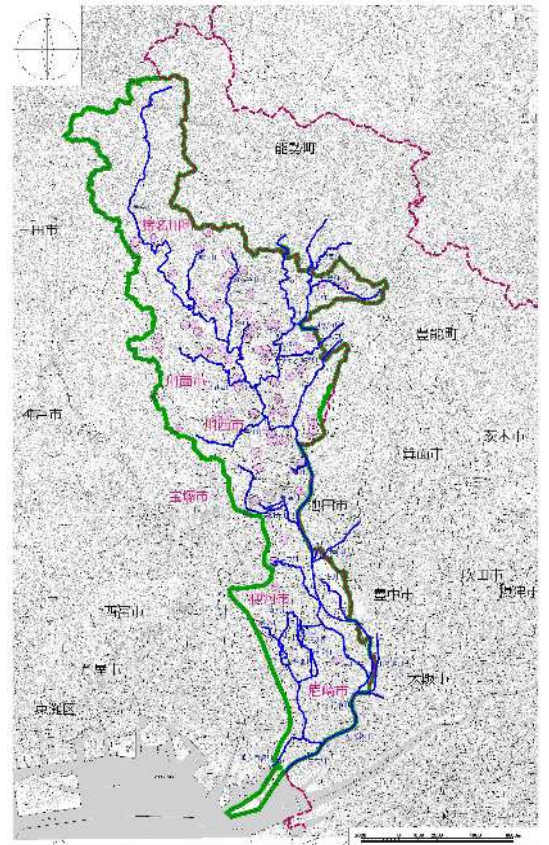
1つ1つの貯留量は微々たる物ですが… (約0.2 t 程度)

- ①住宅の屋根に降った雨を貯留
- ②草木や花への水やり
- ③非常時の備えにもなります1

(2) ため池事前放流



ため池管理者等への研修会の開催  
(ため池を活用した流域対策の啓発)



ため池の分布状況(5,000m³以上) 9

(3) 一庫ダム

- 洪水の発生前に貯水池に貯留している水を放流し、貯水位を低下させる。これにより確保した空き容量を洪水調節に活用することで、より多くの河川水をダムに貯め込むことができる。
- 事前放流により、計画規模を超える洪水においても、緊急放流（異常洪水時防災操作）への移行を回避または遅らせることによりダム下流の浸水被害を軽減したり、避難時間をかせぐことができる。
- 一庫ダムでは「回復可能テーブルを用いた事前放流」と「治水協定に基づく事前放流」の実施要領を策定

	事前放流を実施しない場合	回復可能テーブルを用いた事前放流(R元年9月策定)	治水協定に基づく事前放流(R3年3月策定)
1 洪水調節開始時点	<p>貯められる量 = 洪水調節容量 (1,750万m³)</p>	<p>貯められる量 = 洪水調節容量 + 活用容量 (1,750万m³) (150万m³)</p> <p>事前放流を行い普段の水位よりさらに低下</p>	<p>貯められる量 = 洪水調節容量 + 活用容量 (1,750万m³) (最大1,465万m³)</p>
2 異常洪水時	<p>ダムが満杯になり異常洪水時防災操作に移行</p>	<p>異常洪水時防災操作の回避・移行の遅延(避難時間確保、被害軽減に効果あり)</p> <p>ダムが満杯になっても被害軽減等の効果あり</p>	<p>異常洪水時防災操作の回避に大きく寄与(さらなる被害軽減が期待できる)</p> <p>ダムが満杯になるリスクが大幅に低下</p>

## (4) 都市公園雨水貯留

計画図



雨水貯留槽 (826m<sup>3</sup>)

汚水貯留槽 (100m<sup>3</sup>)



生活用水貯留槽 (190m<sup>3</sup>)

都市公園雨水貯留：川西市キセラ川西せせらぎ公園

## (5) 遊水機能を有する土地の保全



新名神高速道路高架下に設ける広場部分は、盛土せず遊水機能を確保

高架下広場 (遊水機能付き)



猪名川町 新名神高速道路

## (1) 水害リスクに対する認識の向上（知る）

- ・水害リスクを知る機会の提供
- ・水害リスクを知るツールの整備
- ・防災の担い手となる人材の育成



CGハザードマップ  
(水害リスクを知るツールの整備)



まち歩きの実施  
(水害リスクを知る機会の提供)



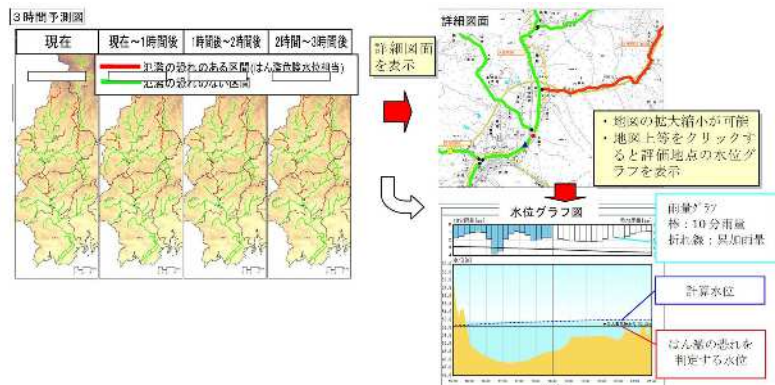
ひょうご防災リーダー講座  
(防災の担い手となる人材の育成)

## (2) 情報提供体制の充実と水防体制の強化（守る）

- ・避難情報の伝達
- ・河川情報の伝達
- ・水防体制の強化



- <ひょうご防災ネットの主な機能>
1. 「マイ避難カード」機能を搭載
  2. 避難情報や防災気象情報をプッシュ通知
  3. 災害時に役立つ防災リンク集を装備
  4. GPS機能で最寄りの避難場所を地図表示
  5. 12外国語対応や音声読み上げ機能、ピクトグラムを使用して、わかりやすい防災情報



氾濫予測の例(フェニックス防災システム)



水防訓練

(3) 的確な避難のための啓発（逃げる）

- ・自助の取組の推進
- ・共助の取組の推進
- ・公助の取組の推進



津波一時避難場所情報(兵庫県HP)



広域避難地の表示

(4) 水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え（備える）

- ・水害に備えるまちづくりへの誘導
- ・重要施設の浸水対策
- ・水害に対する保険制度の加入促進



電気整備の浸水対策



兵庫県が実施・推進する「住まい再建」のしくみ 加入申込書付

# フェニックス共済

## 備える

迫る南海トラフ地震  
30年以内の発生確率70%！  
県内の被害想定 全半壊21.3万棟！

油断できない直下型地震  
山崎町方層、中央構造線断層帯など

絶対に壊れない家はない！  
自然災害のリスクを減らす

頻発する水害・土砂災害  
ゲリラ豪雨を拡大する台風

自然災害により被災した 住宅と家財の 再建、補修の大きな力になります

生活用・修理費 最大3,000円 加入600万円特約	一時修理費 最大500円 25%割引	個人賠償責任 最大1,500円 50%割引	付いた！ 住まいと自分 の暮らしを 大事にする
----------------------------------	--------------------------	-----------------------------	----------------------------------

兵庫県 公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金  
TEL: 078-267-9400 FAX: 078-267-9405  
〒650-0001 神戸市中央区東川崎町1丁目1番1号

フェニックス共済